

(様式 2)

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書 (参加学生)

平成 24 年 9 月 5 日

所属：工学資源学部地球資源学科 学年：大学院博士前期課程 1 年

氏名：山内祥行

研修先大学・機関名等 (国)：チュラロンコン大学地質学科，イサラ鉱山会社 (チャトリー鉱山)
(タイ王国)

在籍身分：

渡航年月日：2012 年 08 月 10 日

帰国年月日：2012 年 08 月 25 日

○研修先での学習内容等

チャトリー鉱山の探鉱業務を担当するイサラ鉱山会社において、新規の探査プロジェクトから得られたボーリングコアについて、岩質・産状を観察し試料の採取を行った。また、前年度に研究を行った同鉱山周辺のシントー探鉱地域について、研究成果をイサラ鉱山会社で発表し担当者と意見交換を行い、補足調査として地質調査・試料採取を行った。その後、チュラロンコン大学の地質学科において、シントー探鉱地域の研究について発表を行った。

○研修期間の生活面について

イサラ鉱山会社には計 12 日間滞在し、研修を行うためのデスクを与えて頂き、毎日、社員の方々と同様に午前 7 時半頃の始業から午後 5 時頃の終業まで、研修内容である野外調査、ボーリングコア観察、室内作業を行った。その後ゲストハウス(宿舎)へ戻り、夜は当日調査したデータの整理、また翌日の予定を計画するなどして過ごした。

○研修期間全般にわたる感想

現地の方々との会話で、おおまかな内容の伝達は問題ありませんでしたが、早口で話されると何度か聞き返す必要があったほか、細かなニュアンスの伝達に苦労しました。今回の滞在を通して、英語でのコミュニケーションの大切さ、便利さを実感しました。

また、始業時間が早い鉱山会社特有の生活リズムや、気候や食文化の違う外国の地において、スタッフの方々が私自身よりも体調の変化を気にかけて頂くなど、家族のように親切な心遣いを頂きました。日本では機会が得られない資源探査の第一線において、調査・研修を行うことが出来て、とてもよい経験になりました。

○今後の勉学計画

- 1, チャトリー金鉱床の探鉱ボーリングから採取した石英脈について、流体包有物マイクロサーモメトリーと酸素同位体分析の実験を行う。
- 2, シントー探鉱地域から採取した試料について、流体包有物マイクロサーモメトリー実験を行い、また、薄片の観察から鉱物組合せを明らかにする。

(様式2)

※報告書は、国際交流センター刊行物（Web サイト含む）に公開を予定しております。
提出については電子データにて写真（1～3枚程度）の添付の上お願い致します。

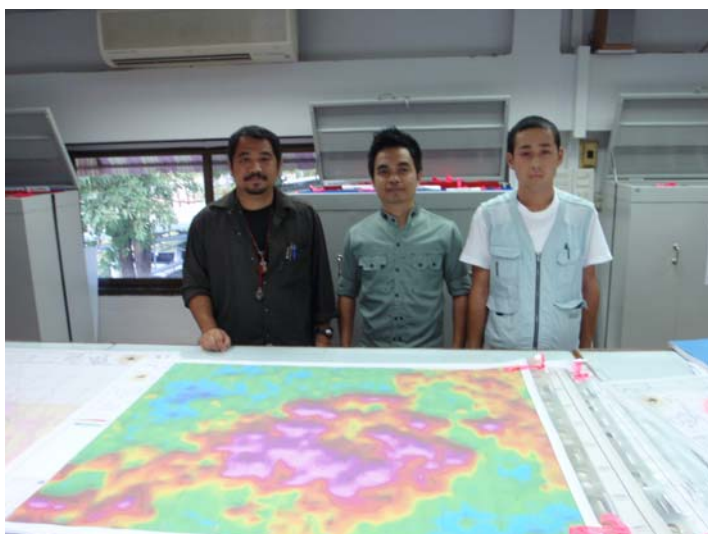


イサラ鉱山会社において探鉱ボーリングコアの観察



シントー探鉱地域において地質調査と石英脈の試料採取

(様式2)



イサラ鉱山会社の担当者による最近の探査・解析データの説明



チュラロンコン大学の地質学科のセミナーで前年度の研究成果を発表